

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

51号

大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702
URL : http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN RX 工法

熱血営業マン！
ダイニくんのお戦記

新型コロナウイルス
ウィルス

感染拡大

東京オリンピック2020も
開催延期となりました。

経済も
生活も
大変です

奮励
収束したら
経済復興に
大日化成も
協力します

こんなところで活躍しています



関東地区浄水場で「ビッグサン UGA 工法」が採用



今年のはじめに、弊社ポリマーセメント系塗膜防水工法「ビッグサン UGA 工法」が関東地区の某高度浄水処理施設の水槽内面防水工事で採用されました。無事に工事が完了しました。

「ビッグサン UGA 工法」は、1993年に大阪府村野浄水場で最初に採用されて以降、関東地区でも同様の高度処理を導入した浄水場で採用されており、数々の高度浄水処理施設で実績を重ねています。高度浄水処理とは通常の浄水処理に加えて、オゾンによる酸化力と生物活性炭による吸着機能を利用した浄水処理で、通常の浄水処理では取り除く事が出来ないごく微量のトリハロメタンやアンモニア、臭気の原因となるその他の有機物をほぼ完全に分解除去することが出来る処理方法です。しかし反面、オゾンの酸化力が強過ぎるために既存の防水材料では分解されてしまい、

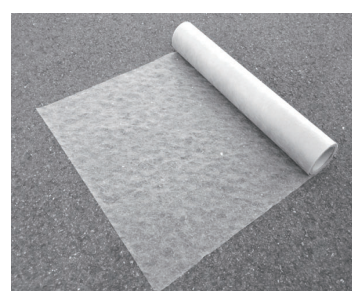
更に下地への湿潤接着性、溶剤を揮発させない安全性も考慮した場合、唯一本材料に絞られるのが現状です。今回の現場は改修工事で、既存は防水施工が施されており、

その後所定の硬化養生を行い、現在は通常通りの供用を行っています。今後も更に各高度浄水処理施設が普及し、それに伴い本材料が利用されることで安全でおいしい水の供給に繋がればと願っております。

地下水槽は比較的移动が少なくコンクリート躯体であることから、地下用ビッグサンは、硬化性や強度、更には背面水圧の影響を考慮して、下地との接着性と塗膜強度を重視したセメント量の多い配合となっています。従って建築用ビッグサンと比較すると高粘度となることから、従来の補強布を使用した際には馴染みが悪く、作業に支障が出るという声が聞かれました。また防水材と補強布を一体化させることを意識するあまり、過剰に水刷毛で馴染ませること

地下水槽用ビッグサン複合防水工法

本製品は、高度浄水処理施設専用のポリマーセメント系耐オゾン防水工法であり、弊社の製品の中でも最も高いパフォーマンスを備える材料の一つです。



屋上床面を対象とした建築用ビッグサン複合防水工法

一般的に地上部のコンクリート躯体は、日射や降雨の影響などにより湿冷や乾湿の繰返しを受けることから、建築用ビッグサンは、下地との接着性能が必須であり且つ下地の動きに追随できる伸び性能が必要不可欠となります。このため、伸び性能を重視した樹脂成分の多い配合となっています。

は、材料の硬化遅延の原因となります。この問題を解決すべく誕生したクロスFは、地下用ビッグサンとの馴染みが良好で且つ一体化しやすい為、作業効率が向上し、防水塗膜の強度アップに寄与します。併せて硬化遅延の問題も解消できます。

のクロスFの使用は、厚さが薄く、建築用ビッグサンとの馴染みが良好で且つ一体化しやすい為、接着性能が向上し、防水塗膜の膨れの要因を可能な限り軽減できます。また、クロスFは厚みが薄いにも関わらず防水塗膜と一体化した際のひび割れ追随性能は、従来の補強布と同等の性能を発揮します。

新規補強布「ビッグサンクロスF」

スカイコートW
＜タイル張り面の透明外壁防水材＞
透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。
透明な塗膜
タイル仕上げの
意匠性は
そのまま!!

スカイレジン＜下地調整材＞
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC-T
水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

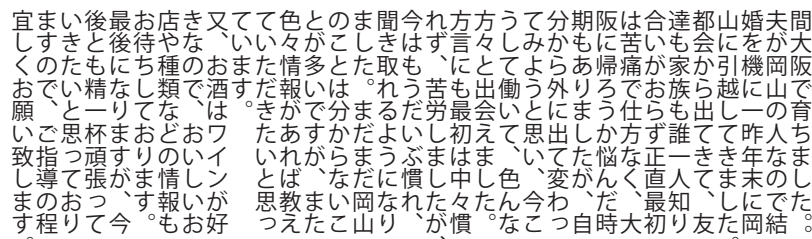
BIGSUN ラピタルエース
＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞
コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル
速硬
軽量
薄塗りから
厚塗りまで可能
取扱簡単!!



東京都の「利用可能な屋上」と言う事から、利用できない屋上に設計しているのではとも思える物件もあったようです。しかし、時勢には逆らえずそういつたネガティブ思考は一時的なもので屋上緑化全盛期に突入していくことになりました。マンションの屋上に庭園を設計したりするようになり、付加価値をあげることで高価なマンションも売すようになりました。「義務」から、価値観をあげるために屋上緑化を導入する商業施設でも緑の庭園をテーマにしたところも数多くあります。屋上緑化が当たり前になってきた。新しいものが導入されるときには賛否両論があるが、なかなかないうちに進まない事が多いので結局、余曲折のたもと結局は大環境のな色々ないう大義名分の付き、浸透していくという流れとなった。

スタッフ紹介

岡山工場、技術部の平尾と申します。昨年の7月から勤めさせていたいております。前職では営業事務・営業職で、少し経験がありますので、納期が優先することや注文一つ一つ獲得する辛さ、獲得した時の達成感、解は少しながらですが理解出来ると思います。業務内容は主に製品の検査を行っております。エマルジョン関係・粉材関係・シール関係の検査をはじめ塗板作成・生サンプルの送付準備等を行っております。又、課長が不在の時は試験成績表の作成を行ったり定期点検を行っております。製品検査では製品の種類が多く、最初は覚えるの毎日に必死で業務をこなしておりますが、少しずつ慣れ、三か月間の研修を経て検査員となり、今は一人で検査を行えるようになりました。塗板作成等は工法が色々ありますが、コテや刷毛を使って製作していくのが個人的には楽しく、回数をこなすとともに上達していくのが面白いなと感じております。コテや刷毛など今まで使用する機会がなかったのです。いつも新鮮な気持ちです。話は変わりますが、私は大阪で生まれて、26年

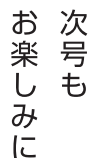


DAINICHI CHEMICAL
CO., LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755(代) / FAX：06-6909-6702

●東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

活躍によりハッピーエンドで終わるのですが、現実でも、早い治療薬やワクチンができて、早く平和的な収束をしてほしいものです。

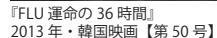
さてこのウィルス、最近では、生物兵器や人工ウィルス説が出ています。具体的には、中国共産党が香港デモや武漢デモ（ゴミ焼却場反対運動）を散会させようと、研究所の人工ウィルスが漏れた、という話です。他には、アメリカ軍がばらまいたという中国側の話や、世界を牛耳る「闇政府」が生物兵器を利用して、人口削減をはかろうとしている、などの説が出ています。

「闇政府」というのは、軍産複合体や医薬業界の上層部だったりはたまた金融マフィアだったり、もしくは、これらの集合体のことを言うそうですが、確かに大きく

また、10年も前に作られた「アン
グロサクソン・ミッション」という
警鐘動画が今、拡散されていて、こ
ちらは上級フリーメーソンの計画を
知った男性が核戦争への危機回避
を人々に呼びかける動画で、それ

早くもイギリスの元首相ゴードン
ブラウン氏が、世界政府樹立を堂々
と提案している点です。これら一連
の流れが、あまりにも堂々としてい
るため、一般市民は闇政府の陰謀に
気づかないのだ、とのこと。

『FLU 運命の36時間』
2013年・韓国映画【第50号】



方が怖い状況ですが、時々
刻々と情勢が変わるなか、本
コラムがお手元に届く頃に
は、映画から学んだように、
日本人含め全人類が勝ち残り
ることを祈っています。

DVD
RELEASE

DUSTIN HOFFMAN
BENJ HUBBS
AND NORMAN FREEMAN

OUTBREAK

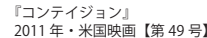
アウトブレイク

『アウトブレイク』
1995年・米国映画【第37号】

執筆・・・2020年4月上旬

映画で学ぶ 環境問題

== ウイルス感染映画・総集編 ==



くのか？」とのご意見もありました。今では「連載のおかげで、予備知識がついて良かった」などの感想も頂いています。

報じられるはずの「ドイツ銀行破綻?」騒動がナリをひそめ株価乱高下で儲けている超富裕層もいるので本当のところは、どうなのでしょう。

ちなみに、今後、起こり得る内容としては、

- 世界中で疫病による「人口削減」が現実化する。
- ワクチンが開発され、世界中でワクチン接種を促される。
- このワクチンには、ナノサイズのマイクロチップが入っている。
- ワクチン接種をしていない人間を見つめる検査が出てくる。
- 世界統一政府の樹立。

現在の状況とあまりに似ているため、視聴者を驚かせています。

ちなみに現在、アメリカやイギリスが中国政府に『新型コロナウイルスに対する損害賠償』を準備中という報道も流れまじった。そして、このような非常時にあって、最も尖閣諸島や台湾への干渉をやめない中国政府によるアジア圏での有事も懸念されているように、農業人口の不足やサクトビバツタの襲来で、世界的な食糧難が訪れるという警告が、国連などから出されるなど、なんとも落着かない状況です。